



豊里

### 大きく成長して帰ってきてね

「サケの放流体験」(北上川漁業協同組合、同組合豊里支部主催)は2月20日、豊里水辺の公園で開かれ、豊里小の5年生49人がサケの稚魚を旧北上川に放流しました。放流体験は、生き物や自然から生命の大切さを学んでもらうことが目的。児童たちは、体長5センチほどに育ったサケの稚魚約25万匹をバケツに入れて、雨どいを使って川に放ちました。小さな体に秘められた力強さを感じながら、数年後に無事に大きく成長して帰ってくることを祈りました。

### きれいな平筒沼をいつまでも

「平筒沼クリーンアップ」(健社会主催、後藤正昭会長)は2月9日、平筒沼ふれあい公園で開かれ、約20人がゴミ拾いや草刈り、枯れ草除去などの清掃活動に参加しました。健社会は平筒沼近くの今泉行政区で設立した会で、地域のさまざまな活動を実施。その一環として平筒沼の桜のてんぐ巣防除作業をしてきました。平筒沼約800本の桜の防除作業が一通り終了し、今年は清掃活動を実施。参加者は、きれいになった平筒沼を満足そうに見つめていました。



米山

### 冬は熱々のたこ焼きで決まり

「石つ子くらぶ『たこ焼きパーティー』」(石越コミュニティ運営協議会主催、菅原健一会長)は2月22日、石越公民館で開かれ、石越小の児童24人が参加しました。たこ焼きパーティーでは、6人ごとのグループに分かれ、作ったことがある児童が初めて作る児童に教えるなど、協力しながら調理。焼きたてのたこ焼きに舌鼓を打った後は、ラムネ、グミ、チョコレートなどを入れて、いろいろな味のたこ焼きを楽しみました。



石越

### 演奏と歌に触れる楽しい時間

「もっこりまちの音楽会」(南方公民館主催)は2月2日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方地区の児童生徒や音楽愛好家約300人が参加しました。音楽会では、南方小学校児童による大嶽太鼓や南方中学校吹奏楽部、あやめ園、もっこり合唱隊、オカリーナの会、ニューシャーマン楽団、スウィング、大正琴あやめの会など地元の団体が演奏を披露。最後は「花は咲く」をみんなで演奏し、演奏と歌に触れる楽しい時間になりました。



南方

### 明るい家庭作文に込めた思い

『「明るい家庭づくり」作文コンクール表彰式』(青少年のための登米市民会議津山支部主催、橋智法支部長)が2月19日、津山総合支所で開かれました。作文コンクールには津山地区から214点の応募があり、小学校下級生の部では横山小3年の佐々木優奈さん、上級生の部では柳津小6年の清野百華さん、中学校の部では津山中3年の遠藤愛莉さんが最優秀賞を、一般の部では伊藤良子さん=津山町横山10区=が特別賞を受賞しました。



津山

### ふれあいカフェで交流深める

「石森ふれあいカフェ」(石森コミュニティ運営協議会主催、渡邊義昭会長)は2月8日、石森ふれあいセンターで開かれ、63人が参加しました。ふれあいカフェでは、ハンドベル楽団「フロールベルリンガー」による演奏が披露。ハンドベルの透き通った音色に「もう一曲聴きたい」と声上がるほど会場は盛り上がりしました。ハンドベル演奏後のカフェタイムでは、シフォンケーキを食べながら、参加者同士交流を深めました。



中田

# 9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

### 地域つなげる手作りイベント

「第9回佐沼地区コミュニティ祭り」(同推進協議会主催、佐藤四郎会長)は2月23日、迫公民館で開かれ、子どもからお年寄りまで約900人が訪れました。祭りは地域住民が集い、人と人がつながる豊かな地域コミュニティづくりを目指すことを目的に開催。舞踊や演芸のステージ発表、児童生徒の作品展示、昔ながらの遊び体験などが催されたほか、昼にはあんこ餅とほっと汁が振る舞われ、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

### 空を舞う思い思いの手作り凧

「第57回とよま凧あげ大会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は2月2日、登米町内の北上川右岸堤防で開かれ、市内外から310人が参加しました。凧あげ大会は、市民同士の親睦と親子の触れ合いを深めることを目的に毎年開催。思い思いのデザインで手作りした凧を持った親子連れなどでにぎわう中、凧の審査も催され、参加者は手作りした凧を空高く揚げ、審査員にアピールしていました。



登米



東和

### 手に汗握る白熱した試合展開

「第2回ポッチャ大会」は2月16日、米川公民館で開かれ、子どもから高齢者までの8チーム、29人が地域や世代を超えて交流しました。ポッチャは、自分たちのボールを投げたり転がしたりして、いかに白いジャックボール(目標球)に近づけられるかを競うゲーム。1試合1試合が手に汗握る白熱した試合となり、初参加の米川1区チームが混戦を制しました。参加者は地域の交流会などにも取り入れたいと話していました。

### ふれあいカフェで交流深める

「石森ふれあいカフェ」(石森コミュニティ運営協議会主催、渡邊義昭会長)は2月8日、石森ふれあいセンターで開かれ、63人が参加しました。ふれあいカフェでは、ハンドベル楽団「フロールベルリンガー」による演奏が披露。ハンドベルの透き通った音色に「もう一曲聴きたい」と声上がるほど会場は盛り上がりしました。ハンドベル演奏後のカフェタイムでは、シフォンケーキを食べながら、参加者同士交流を深めました。



中田